

はじめに

本調査レポートは、熊本県むらづくり課「令和3年度農泊地域先進事例調査等業務」において、令和3年11月から12月にかけて実施した訪問調査の内容をわかりやすく取りまとめたものです。

訪問調査の対象としたのは、教育旅行のパイオニアである大分県宇佐市の「NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会」、同じく大分県臼杵市においてオンラインツアーという個人的な取り組みや海外との交流など新たな活動を行っている地域おこし団体「くらたび臼杵」、福岡県宗像市の沖に浮かぶ大島においてゲストハウスの運営やさまざまなイベント企画を行っている島おこし会社「合同会社渡海屋」の3地域および「株式会社 JTB 福岡支店教育旅行センター」の4箇所です。

「NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会」で農泊の主たる商品スタイルである教育旅行についてその経緯やコロナ禍における現状を学び、新たな取り組みの事例として「くらたび臼杵」のオンラインツアーや「合同会社渡海屋」が行う地域外の若者たちによる起業化について学ぶ。さらに、旅行商品を造成する立場として「株式会社JTB福岡支店教育旅行センター」の意見を聴取するという狙いです。

この調査レポートは、動画版のレポートで映像編集した内容を、より詳しく理解していただけるようとりまとめたものです。

地域外の人々との交流を求め、それによって地域の暮らしの糧を得たり、地域の活性化を図ったりしている農泊の仲間たちがコロナ禍のいま何を考え、何に取り組んでいるのか。そのようなことを動画版と本レポートで感じ取っていただければありがたいと思います。

なお、本レポートの記述方法については、取材担当者が3つの地域をどのように訪ね、どのように行動したのか、その視点で書き起こしてみました。いわば、「紙上の農泊」です。一緒に訪問しているような気分でお読みいただくと幸いです。